

朝の館内放送

平成30年12月3日
スピーカー 市長

みなさん、おはようございます。
市長の中村健です。

先月のことになりますが、西尾歴史マイスター認定試験を受験しました。

この試験は、西尾市民の融和と、地域への関心・故郷への愛着を深めるとともに、全国に西尾を発信することを目的に、今年度より始まったものです。

当初、定員を100名で考えていましたが、それを大きく超える申し込みがあったばかりでなく、試験前に行われた学習会でも、毎回、積極的に学習しようという姿勢の参加者が数多くいました。

そして迎えた試験当日、受験者の何人かと、試験の感想などを話し合う機会がありました。

みなさん口を揃えて言っていたのが、西尾のことが今までよりも好きになった、西尾って実はすごいまちだと思った、ということでした。

私たちは、自分の住むまちの魅力や、暮らしやすさを考える時、無意識的に他のまちと比較してはいないでしょうか。

比較をすることによって気づく魅力も当然あるとは思いますが、むしろ口を突いて出ることは、自分のまちにないもの、いわゆる無い物ねだりです。

しかし、自分が住むまちの歴史、文化、産業などを深く見つめ直すことによって、本当の魅力に気づくはずです。

少なくとも、私自身はそうでした。

職員のみなさんには、西尾市のことを卑下してみるのではなく、愛着と誇りを持ち、率先してPRマンになってほしいと思います。

まだまだ本心から愛着や誇りを持ってないという人がいたら、少しずつでもいいので、西尾市の歴史、文化、産業などについて勉強してみてください。

きっと、今よりも西尾市のことが好きになるはずです。

朝の館内放送

まずは、自分自身が西尾ファンになり、そして、周りの西尾ファンを増やし、西尾市をみんなで盛り上げていきましょう。